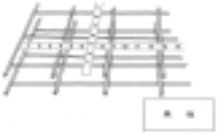






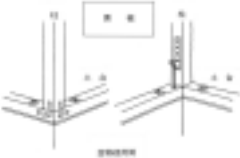
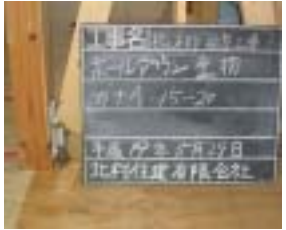
全 121 項目のうちの一例です。

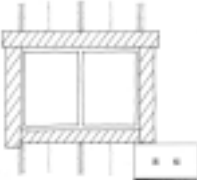
(作成: Yoshida DESIGN)

4 - 4 ベース (底盤) 筋	4 - 4 ベース (底盤) 筋写真	解 説 (指定・使用)
 <p>20**/4/25 撮影 A</p>		<p>(構造計算された鉄筋の、配筋間隔と*スパーサーの写真です。防湿ビニールや断熱材を敷く仕様もあります)          &lt;短辺上端D【13】外周下端D【13】@【200】mm          &lt;長辺上端D【13】外周下端D【13】@【200】mm          &lt;底盤厚み【150】mm          &lt;断熱材又は防湿ビニール厚み【0.2】mm          ◻メジャー当て写真          *スパーサー=鉄筋を持ち上げコンクリートの被り(かぶり)を確保する部材です</p>

4 - 9 基礎コンクリート受入検査	4 - 9 基礎コンクリート受入検査写真	解 説 (指定・使用)
 <p>20**/5/1 撮影 第一試験</p>		<p>コンクリート搬入時にコンクリートの品質管理の為に試料を採取し、スランプ・空気量・塩化物量の試験を行い、建築基準法によるコンクリートの圧縮強度確認のための試料も採取します。)          &lt;設計基準強度【21】N/mm<sup>2</sup>          &lt;発注強度【24】N/mm<sup>2</sup>          &lt;単位セメント量【323】kg/m<sup>3</sup>          &lt;スランプ【20.5】cm          &lt;空気量【4】%          &lt;塩化物量【0.048】kg/m<sup>3</sup></p>

5 - 6 建方	5 - 6 建方写真	解 説 (指定・使用)
 <p>20**/5/15 撮影 吉田</p>		<p>いよいよ木造の軸組が姿を現し、建物のおよその大きさが見えてきました。今日のところは仮筋交いで固定してあります。これからは、接合金物部分等を写します。)</p>

5 - 9 構造金物(土台と通し柱)	5 - 9 構造金物写真(土台と通し柱)	解 説 (指定・使用)
 <p>20**/5/29 撮影 K</p>		<p>(土台と柱の接合金物の写真です。特に建物の四隅を固める通し柱の接合は重要で、施工不良は地震等で柱が抜け倒壊する要因の一つです。)          構造金物は、(財)日本住宅・木材技術センターが定める軸組み工法用金物規格に適合する(Zマーク表示金物)や同等品、及びこれら以外の技術開発金物があります。</p>

10 - 1 サッシュ周囲防水テープ貼り	10 - 1 サッシュ周囲防水テープ貼り写真	解 説 (指定・使用)
 <p>20**/6/4 撮影 K</p>		<p>(サッシュ廻りからの漏水防止テープ貼りの写真です。          開口部からの雨漏り防止に重要です。)</p>



(在来木造)